

事務事業 No./名 称	■サービス部門 環境-04 □支 援 部 門		分別収集運営事業						
主管課	資源循環課	関連課	名越・今泉クリーンセンター						
分野名	生活環境								
目標 (目標値)	効率的な収集・処理体制の確保と廃棄物の適正処理を推進する。平成27年度のリサイクル率を60%とする。								
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考				
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯					
	事業の対象者数								
運営資源 状 況	決算値(千円)	706,970千円	634,544千円	603,769千円					
	(国・県)	447千円							
	(負担金等)	230,451千円	173,695千円	258,728千円					
	(一般財源)	476,072千円	460,849千円	354,041千円					
	人員配置数	3.0人	4.9人	4.7人					
	人件費(千円)	27,171千円	43,970千円	44,120千円					
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	734,141千円	678,514千円	647,889千円					
	市民1人当 りの経費(円)	4,144円	3,841円	3,671円					
	対象者1人 当りの経費(円)								
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名	横浜市	横須賀市	逗子市	藤沢市	鎌倉市			
	1人当たりのごみ排出 量(g)	936g	1,036g	986g	879g	1,097g			
	リサイクル率	26.8%	35.9%	22.7%	31.5%	46.6%			
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)		
ごみ焼却量	△	目標値	40,340t	39,700t	39,553t	38,132t	25,855t		
		実績値	40,173t	40,389t					

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。				②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。			
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。				④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。			
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)				⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止			
収集処理事業	513,206千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒ ■A □B □C □D □E
	事業の概要	資源物やごみ品目別に分別収集、収集運搬業務の一部民間委託に関する事務								
分別収集施設・設備運営事業	2,622千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	燃えないごみ、危険・有害ごみの資源化を行う施設・設備の管理等に関する事務								
収集処理事業(新)	191,142千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	資源物の分別収集処理に関する事務								
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)						
H22年度の課題	平成21年度に実施した燃やすごみの分析調査では、資源ごみの混合割合が平成19年度より改善されてきているが、依然として23%と高い比率を示している。					
課題解決のための取組	自治・町内会での説明会などで分別指導を行った。					
未解決の課題	事業系ごみ(燃やすごみ)の組成調査を行ったところ、資源物等が28.5%混入していることが確認された。事業系ごみの分別指導が必要である。					
今後の方針	事業系ごみの分別について事業者向けなどのチラシを作成するとともに、ピット前調査を実施するなど、分別指導を徹底する。					
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	A	※ □事業完了	課長名	資源循環課長 古屋 善啓

個別事業の概要

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果	
収集処理事業	主な個別事業	1211 紙類等資源物処理業務委託	175,753	175,753	■適切	□見直し余地あり
		1211 資源物(カン・ビン)収集及びコンテナ配布業務委託	122,048	122,048	■適切	□見直し余地あり
分別収集施設・設備運営事業	主な個別事業	1213 不燃ごみ等搬出用トラックスケール賃借	1,023	1,022	■適切	□見直し余地あり
		鹿島市環境保全協力金	208	212	■適切	□見直し余地あり
収集処理事業(新)	主な個別事業	1101 容器包装プラスチック中間処理業務委託	99,040	95,243	■適切	□見直し余地あり
		1101 容器包装プラスチック収集運搬業務委託	69,279	69,279	■適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり